

平成31年度年間授業計画

|             |    |                                                              |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                        |          |
|-------------|----|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 教科科目        |    | 教科( 地理歴史科 ) 科目( 世界史A ) 単位数:【 2 単位】                           |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                        |          |
| 教科担当        |    | (2100: 小宮山 )(2200: 小宮山 )(2300: 小宮山 )(2400: 小宮山 )(2500: 小宮山 ) |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                        |          |
| 使用教科書:      |    | 明解 世界史A (帝国書院)                                               |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                        |          |
| 副教材等:       |    |                                                              |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                        |          |
| 期           | 月  | 指導内容                                                         | 具体的な指導目標                                                                                                                                                | 評価の観点・方法                                                                                                                                               | 予定<br>時数 |
| 一<br>学<br>期 | 4  | 現在につながる社会の形成                                                 | 交通革命, マス=メディアの発達, 企業や国家の巨大化, 社会の大衆化と政治や文化の変容, 公教育の普及と国民統合などを通して, 20世紀という時代の特徴を把握するとともに, 欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から, 世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。 | ①学習に対する関<br>心・意欲・態度<br>②学習内容につい<br>ての思考・判断・表<br>現<br>③資料活用等の技<br>能<br>④学習事項の知識・<br>理解<br><br>以上4観点を中心<br>に、授業態度、定期<br>考査得点、課題提<br>出状況などから総合<br>的に評価する。 | 22       |
|             | 5  | 第一次世界大戦がもたらしたもの                                              | 第一次世界大戦と総力戦としての様相, ロシア革命, ソヴィエト連邦の成立, 戦争と革命による国際秩序の変化, アメリカの大衆生活とその波及を通して, 20世紀初頭の変化の様相を理解する。                                                           |                                                                                                                                                        |          |
|             | 6  | 民族自決を求めて (アジアの民族運動など)                                        | インド・中東および東アジアの民族運動を通して, “民族自決”を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。                                                                                                  |                                                                                                                                                        |          |
|             | 7  | 経済危機から第二次世界大戦へ                                               | 第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格, それらが及ぼした影響を理解し, 平和の意義などについて考察する。 2 部 1 章 2 節とあわせて20世紀前半の国際政治の流れを概観し, 国際関係の変遷と社会の特徴を理解する。                                          |                                                                                                                                                        |          |
| 二<br>学<br>期 | 9  | 世界の一体化と日本                                                    | 前近代の諸文明、一体化に向かう世界、欧米の工業化とアジア諸国の各分野を学習し、特に興味のある部分について生徒が発表形式で授業を進め、技能・表現の能力を養う。                                                                          | ①学習に対する関<br>心・意欲・態度<br>②学習内容につい<br>ての思考・判断・表<br>現<br>③資料活用等の技<br>能<br>④学習事項の知識・<br>理解<br><br>以上4観点を中心<br>に、授業態度、定期<br>考査得点、課題提<br>出状況などから総合<br>的に評価する。 | 28       |
|             | 10 | 冷たい戦争の時代                                                     | 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立, アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し, 核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。                                                                      |                                                                                                                                                        |          |
|             | 11 | 冷戦終結への道のり                                                    | 1970年代以降は市場経済の世界化をはじめ, 米ソのゆらぎや冷戦の終結などから, 世界が大きく変容し, 今日に至っていることを理解する。                                                                                    |                                                                                                                                                        |          |
|             | 12 | 地球社会への歩み                                                     | 冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解するとともに, 日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し, これからの国際社会における日本の役割について考察する。                                                          |                                                                                                                                                        |          |
| 三<br>学<br>期 | 1  | 地球社会への歩み                                                     | 冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解するとともに, 日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し, これからの国際社会における日本の役割について考察する。                                                          | ①学習に対する関<br>心・意欲・態度<br>②学習内容につい<br>ての思考・判断・表<br>現<br>③資料活用等の技<br>能<br>④学習事項の知識・<br>理解<br><br>以上4観点を中心<br>に、授業態度、定期<br>考査得点、課題提<br>出状況などから総合<br>的に評価する。 | 20       |
|             | 2  | 持続可能な社会をめざして                                                 | ここまで学習したことをふまえ, 現代世界の特徴や課題について, それぞれが興味のあるテーマを見つけて決定し, 自ら調べて, レポートにまとめ, 報告・発表する。意見交換の場を通して, 自分の意見をいっそう明確にしたり, 修正・再検討を加える。                               |                                                                                                                                                        |          |
|             | 3  | 持続可能な社会をめざして                                                 | ここまで学習したことをふまえ, 現代世界の特徴や課題について, それぞれが興味のあるテーマを見つけて決定し, 自ら調べて, レポートにまとめ, 報告・発表する。意見交換の場を通して, 自分の意見をいっそう明確にしたり, 修正・再検討を加える。                               |                                                                                                                                                        |          |
|             |    |                                                              |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                        | 70       |